

絆

187号



衆議院議員

桜田よしたか

日本！この国を強い国に！
～国・地域・家族を守る～



日本とアジア太平洋の友情の架け橋！

☆日本政府代表として南西太平洋のクック諸島自治 50 周年記念式典に出席。...

8月3日から7日まで日本政府特使としてクック諸島自治 50 周年記念式典に出席する為、飛行機で15時間かけてクック諸島（英：Cook Islands）国を訪問いたしました。

今年5月には、福島県いわき市で「太平洋島サミット」が開催され、本来ならば相互友好として今回の式典でも日本からも安倍総理や岸田外務大臣が出席する予定でした。しかし9月27日まで延長されている国会の為、首相も外相も国会に張り付きになっております。

その為、政府から私が日本政府特使としてクック諸島に訪問することになりました。

これは、初代外務政務官として2001の「えひめ丸事件」の対応で1か月以上もハワイで米国と交渉したことを皮切りに、文部科学副大臣兼東京オリンピック・パラリンピック組織委員会副委員長として北米・南米・アフリカ・ロシア・アジア各国など、これまで50か国以上と交渉してきた実績が買われたことから、特に政府から私に指名され特使に任命されたのです。

日本の国会議員は、まずは国会で活発な議論を展開することが第一ですが、私は積極的に外国を訪問し、多くの国の仲間たちと“Face to Face”で話し合いをすることも同じくらい重要であると考えております。



8月4日、クック諸島の首都「ラロトンガ」にて、ニュージーランドのキー首相と会談。

☆We are the Islanders ! 広げよう太平洋の絆

今年はクック諸島憲法発効 50 周年。日本がクック諸島を国家承認（2011 年）から初めて日本政府の代表として私が初めての特使に任命されたことは、この上の無い光栄です。太平洋には大小様々な国がありますが、日本の外交の方針は「平和と友情」にあります。これからもっと両国の関係が親しくなればと祈念してやみません。



「ニウエ」国のタランギ首相と首脳会談。



引き続きクック諸島のプナ首相との首脳会談。



(写真 3 枚) クック諸島の皆さんと。

柏市や我孫子市でも、地元の有志の皆様がサークル活動をされている伝統文化の「フラ」の披露やクック諸島伝統の贈り物をいただき、地元の子供やミスクック諸島の方とも、親しく交流をさせて頂きました。

日本からはニュージーランド経由で時間はかかりますが、温暖でゆったりとした時間が流れるまさに南の楽園。

もっと日本からの観光客が訪問してもよろしいかと思ひます。



☆北方領土は我が国固有の領土です。

クック諸島から帰国してから、今度は超党派議員連盟「日露友好議連」の分科会として、ロシアの極東地域の国会議員と会談をしてまいりました。日本の国会議員としてカウンターパートであるロシアの国会議員が何を考えているかを知ることが、今後の交渉に於いて非常に意義のあることだろうと思います。

☆日ソ中立条約を一方的に破ったのはソビエト連邦（当時）



昭和 20 年 8 月 9 日、ソビエトは昭和 16 年に締結され、当時はまだ有効であった日ソ中立条約を一方的に破棄して、日本に宣戦を布告してきました。ソビエトは昭和 20 年 2 月のヤルタ会談に基づいて対独線終結後半年以内に対日参戦をしてきましたが、国際法上有効であった日本とソビエトの条約を破った事実、そしてその後の民間人への暴行、シベリア抑留といった行為を、歴史の事実として忘れてはなりません。

今回、日露友好議連として自民党、民主党の議員 6 名でロシアのイルクーツクに訪問して短いながらも活発に会議を開催いたしました。ここで私が驚いたのは、ロシア側議員は一人も「日本とロシアの間に中立条約が存在したこと」「ソビエトが一方的に破ったこと」を知らなかったことです。それどころか、ロシア議員の一人は“当時、ソ連と戦っていたドイツと同盟をしていた日本と戦うのは当然”と平然と発言してきたことに、非常に衝撃を受けました。

☆日本人を守るための戦い

日本がポツダム宣言を受託して玉音放送で停戦の詔勅が放送されたのは昭和 20 年 8 月 15 日ですが、ソビエトの攻撃はさらに激しさを増してきました。満洲では日本人の若い軍幹部学校の学生ですらも「布団爆雷」を背負って強力なソ連戦車（写真上参照）に「特攻」し、女性や子供を逃す為、若い命を散らせました。

今でいう「北方領土」は歯舞・色丹・国後・択捉の 4 島だけではなく、1905 年のポーツマス条約以降、カムチャツカ半島の真近にある占守（シユムシユ）島以南はすべて日本領でした。

ソビエト軍はこの占守島を、昭和 20 年 8 月 18 日から攻撃を開始しました。我々はポツダム受諾をソ連に対しても通告していたにも関わらず攻撃を開始した事実を、よく記憶しておかねばなりません。

占守島には、当時陸軍の戦車第十一戦車連隊（十一を組み合わせ“土魂部隊”とも呼んでいた）が守りを固めており、上陸してきたソ連軍を叩きに叩きました。結局、陸軍上部からの命令で鉾を



今も日本軍戦車が当時の姿を残す

収めることになりましたが、当時のソ連指導者層に、北海道侵攻を思いとどまらせる大打撃を与えました。樺太でも、当時の日本人は懸命にソ連に抵抗しましたが、圧倒的なソ連軍に飲み込まれてしまい、多くの日本人が命を落とした事実を、今後のロシアとの交渉の際には片時も忘れてはなりません。



【樺太の悲劇】稚内市には、樺太の真岡市の電話交換所に勤務していた9人の女性の碑があります。これはソ連軍が迫る中、最後まで電話交換の任務を果たした後、ソ連兵の毒牙に掛かる前に自決した歴史的事実を静かに語ります。



【現代に残る北の護り】かつての戦車第十一連隊「士魂部隊」は、北海道の陸上自衛隊にも受け継がれております。国際的な交渉に際しては歴史の勉強と、人々の思いをよく知り、それを将来に生かすことが、何よりも肝要でしょう。

☆【報告】自民党本部で正式に機関決定がなされました



来年の7月の参議院選挙では、自民党千葉県連としては6月の千葉県連総会で現職の猪口邦子参議院議員の他、新人として39歳の弁護士である、「元榮太一郎：もとえたいちろう」さんを公認しました。

改めて正式にこの8月、自由民主党本部からも正式に公認として機関決定されましたことを、改めまして皆様にご報告申し上げます。

党員募集のお知らせ

【入党手続き】桜田事務所までご連絡ください

【自民党員になると】2年間継続した党員は、自民党総裁選挙の有権者となります。また桜田義孝事務所より活動報告や行事案内をお送り致します。【党員種類】一般党員 年間 4,000 円 家族党員 年間 2,000 円

桜田義孝柏事務所

〒277-0814 柏市正連寺 374 TEL:04-7132-0881 FAX:04-7132-6456

桜田義孝国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 1117 号室

TEL: 03-3508-7381 FAX: 03-3508-3501

ホームページ <http://www.sakurada-yoshitaka.com/>

メールアドレス web@sakurada-yoshitaka.com

Twitter (ツイッター) <http://twitter.com/ysakurada>

☆メールアドレス登録で、桜田からの耳より情報を配信いたします！上記アドレスまでご連絡ください！

